



Red Hat AMQ 7.5

AMQ Streams 1.3 on RHEL リリースノート

AMQ Streams on Red Hat Enterprise Linux の使用

Red Hat AMQ 7.5 AMQ Streams 1.3 on RHEL リリースノート

AMQ Streams on Red Hat Enterprise Linux の使用

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Release_Notes_for_AMQ_Streams_1.3_on_RHEL.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本リリースノートには、AMQ Streams 1.3 リリースに含まれる新機能、改良された機能、修正、および問題に関する最新情報が含まれています。

目次

第1章 機能	3
1.1. KAFKA 2.3.0 のサポート	3
第2章 機能拡張	4
2.1. KAFKA 2.3.0 で改良された機能	4
第3章 テクノロジープレビュー	5
3.1. JAEGER を使用した分散トレーシング	5
3.2. OAUTH 2.0 認証	6
第4章 修正された問題	8
第5章 既知の問題	9
第6章 サポートされる統合製品	10
第7章 重要なリンク	11

第1章 機能

1.1. KAFKA 2.3.0 のサポート

AMQ Streams は Apache Kafka バージョン 2.3.0 に対応するようになりました。

AMQ Streams は Kafka 2.3.0 をベースにしています。Red Hat によってビルドされた Kafka ディストリビューションのみがサポートされます。

アップグレードの手順は、[AMQ Streams and Kafka upgrades](#) を参照してください。

詳細は、[Kafka 2.2.1](#) および [Kafka 2.3.0](#) のリリースノートを参照してください。



注記

Kafka 2.2.x は、アップグレードの目的のみで AMQ Streams でサポートされます。

サポートされるバージョンの詳細は、カスタマーポータル[の「Red Hat AMQ 7 コンポーネントの詳細」](#)を参照してください。

第2章 機能拡張

このリリースで改良された機能は次のとおりです。

2.1. KAFKA 2.3.0 で改良された機能

Kafka 2.3.0 に導入された改良機能の概要は、[Kafka 2.3.0 Release Notes](#) を参照してください。

第3章 テクノロジープレビュー



重要

テクノロジープレビューの機能は、Red Hat の実稼働環境のサービスレベルアグリーメント (SLA) ではサポートされず、機能的に完全ではないことがあるため、Red Hat はテクノロジープレビュー機能を実稼働環境に実装することは推奨しません。テクノロジープレビューの機能は、最新の技術をいち早く提供して、開発段階で機能のテストやフィードバックの収集を可能にするために提供されます。サポート範囲の詳細は、「[テクノロジープレビュー機能のサポート範囲](#)」を参照してください。

3.1. JAEGER を使用した分散トレーシング



注記

これはテクノロジープレビューの機能です。

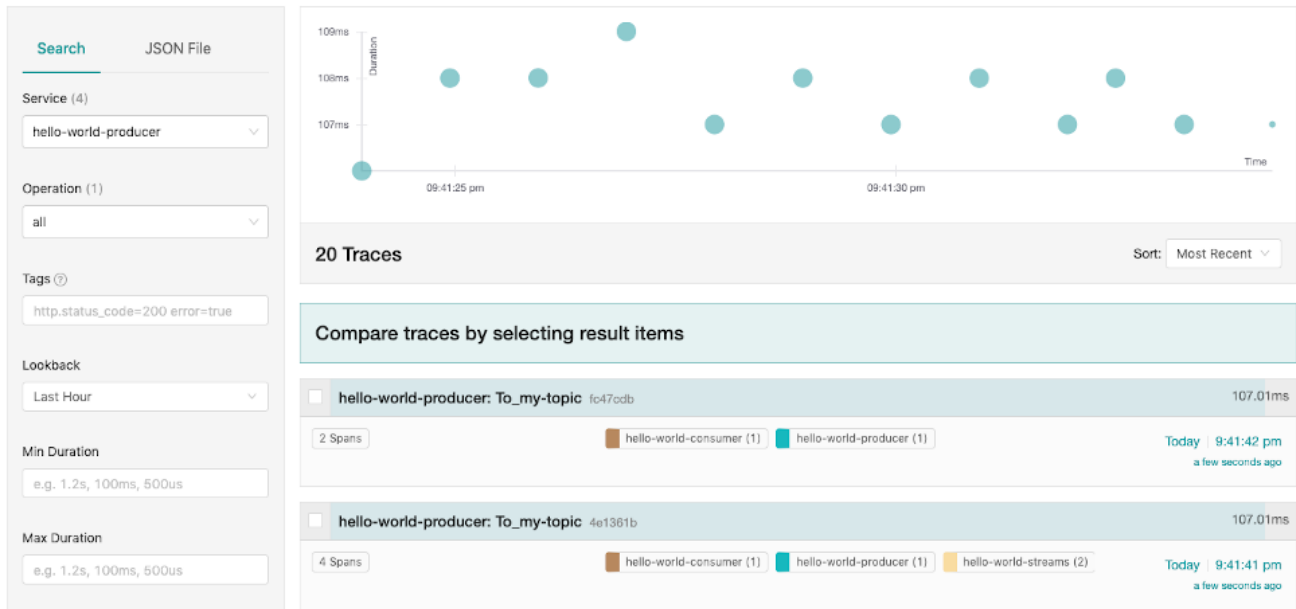
本リリースでは、通常の Kafka アーキテクチャーにおけるトランザクションの分散トレーシングのサポートが追加されました。同梱の OpenTracing Java ライブラリーを使用して、クライアントアプリケーションを活用し、メッセージの生成や消費などのトランザクションの追跡を生成できます。

分散トレースは、以下のコンポーネントでサポートされます。

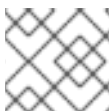
- Kafka クラスター
- プロデューサーおよびコンシューマー
- Kafka Streams アプリケーション
- Mirror Maker
- Kafka Connect

トレースデータは Jaeger を使用してユーザーインターフェースで確認できます。この情報を使用して、エンドツーエンドの Kafka クラスターの操作を監視し、ターゲットシステムおよびアプリケーションのパフォーマンス問題をデバッグできます。

Jaeger ユーザーインターフェースのクエリー例



3.2. OAUTH 2.0 認証



注記

これはテクノロジープレビューの機能です。

AMQ Streams は、**SASL OAUTHBEARER** メカニズムを使用して OAuth 2.0 認証の使用をサポートします。

OAuth 2.0 のトークンベースの認証を使用すると、アプリケーションクライアントはアカウントのクレデンシャルを公開せずにアプリケーションサーバー（「リソースサーバー」と呼ばれる）のリソースにアクセスできます。クライアントは、認証手段としてアクセストークンを提示します。アプリケーションサーバーはこのアクセストークンを使用して、付与されたアクセス権限のレベルに関する情報も検索できます。承認サーバーは、アクセスの付与とアクセスに関する問い合わせを処理します。

AMQ Streams のコンテキストでは以下が行われます。

- Kafka ブローカーはリソースサーバーとして動作する。
- Kafka クライアントはリソースクライアントとして動作する。

ブローカーおよびクライアントは、必要に応じて OAuth 2.0 承認サーバーと通信し、アクセストークンを取得または検証します。

AMQ Streams のデプロイメントでは、OAuth 2.0 インテグレーションは以下を提供します。

- Kafka ブローカーのサーバー側の OAuth 2.0 サポート。
- Kafka MirrorMaker、Kafka Connect、および Kafka Bridge のクライアント側 OAuth 2.0 サポート。

Red Hat Single Sign-On の統合

Red Hat Single Sign-On を承認サーバーとしてデプロイし、AMQ Streams と統合するために設定することができます。

Red Hat Red Hat Single Sign-On を使用して、以下を実行できます。

- Kafka ブローカーの認証の設定
- クライアントの設定および承認
- ユーザーおよびロールの設定
- アクセスの取得およびトークンの更新

「[OAuth 2.0 トークンベース認証の使用](#)」を参照してください。

第4章 修正された問題

AMQ Streams 1.3 で修正された問題を、以下の表に示します。

課題番号	説明
ENTMQST-1287	コンシューマー作成の操作では、応答に HTTP コード 500 が含まれていてはいけない
ENTMQST-1194	無効な JSON デコード時の未処理の例外
ENTMQST-1185	consumerOrPartitionNotFound テストの修正

第5章 既知の問題

AMQ Streams 1.3 の既知の問題を以下の表に示します。

課題番号	説明
ENTMQST-1188	<p>AMQ Streams Kafka Bridge のロギングレベルはデフォルトで DEBUG に設定されます。生成されたログのサイズを縮小し、パフォーマンスを向上させるには、config/log4j.properties ファイルを編集して、ロギングレベルを INFO に設定します。</p> <pre>log4j.logger.io.strimzi.kafka.bridge=INFO, out</pre> <p>詳細は、「Kafka Bridge のロガーの設定」を参照してください。</p>

第6章 サポートされる統合製品

AMQ Streams 1.3 は、以下の Red Hat 製品とのインテグレーションをサポートします。

- OAuth 2.0 サポート用の **Red Hat Single Sign-On 7.3** (テクノロジープレビュー機能)

これらの製品によって AMQ Streams デプロイメントに導入可能な機能の詳細は、AMQ Streams 1.3 のドキュメントを参照してください。

第7章 重要なリンク

- [Red Hat AMQ 7 でサポートされる構成](#)
- [Red Hat AMQ 7 コンポーネントの詳細](#)

改訂日時： 2022-07-02 18:16:13 +1000